

第3章

笠間市が目指す将来の 環境像は？

第3章 笠間市が目指す将来の環境像は？

市民、事業者、滞在者そして市が一体となり、環境の保全や創造に取り組むために、目指すべき将来の環境のイメージを描き、それらを共有化することが重要です。

そこで、本計画で目指す笠間市の将来の望ましい環境像を以下のように決めました。

豊かな自然との共生 水と緑の里 かさま

豊かな自然との共生

環境基本条例の基本理念を受け、人間も生態系の一部として一人ひとりが恵まれた自然の営みから様々な恩恵を受けていることを認識し、暮らしや産業活動と自然が健全に共生する社会を表しています。

水と緑の里

私たちのふるさと笠間の環境を代表するイメージです。

市域のほぼ中央部を貫流する涸沼川をはじめとした中小河川、点在するため池や湖沼、樹林や農地、谷津田などがそれぞれに結びついて水と緑のネットワークを形成し、健全な生態系が構成されている姿を表現しています。



紅葉が湖面に映える新池（北山）



巴川源流の森



市のほぼ中央を貫流する涸沼川



吾国愛宕県立自然公園